

(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322

初夏の候、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。いつも弊社をご利用頂きありがとうございます。晴れると夏日を記録する季節になり、朝夕と昼の気温差が激しいので体調に気をつけて下さい。今回は世界で開催されている**機械加工・工作機械の展示会**についてご紹介させていただきます。
(加工部 小林)

＜編集者＞
塚原 佳由
望月 博隆
小林 龍也
村松 貴
赤本 健三
山田 幸平

鋼種 Q & A ~EMOとIMTSについて~

EMO (欧州国際工作機械見本市)

2年に1度(奇数年)ドイツ・ハノーバーとイタリア・ミラノで開催される金属加工、工作機械を中心とした世界規模の展示会です。両国が持ち回りで開催していますがハノーバーでの開催の頻度が高いそうです。

IMTS (シカゴ国際工作機械見本市)

EMOと同様に2年に1度(こちらは偶数年)にアメリカ、シカゴで開催される展示会です。両展示会とも来場者数12~13万人、出展社数2000~2500社(ともに前回開催のデータ)の規模となっています。

ちなみにEMO、IMTS、JIMTOFは世界3大工作機械見本市と呼ばれているそうです。



↑ EMO ↑



↑ IMTS ↑



コロナウイルスの影響でこのような展示会が相次いで中止、開催規模の縮小に追いやられています。今年12月に開催予定だったJIMTOF2020(日本国際工作機械見本市)も東京オリンピック、パラリンピック延期に伴い展示会場が確保出来なくなったため中止となりました。世界経済が厳しさを増す中、一刻も早い事態の終息を願うばかりです。

★社長のワンポイント★新型コロナウイルス感染症(COVID-19)という人類がウイルスというものを発見してから最大級の感染状態に陥って数ヶ月。東京オリンピック・プロ野球・J1サッカーはじめ、多くのイベントが中止になり、春夏高校野球も中止。戦後このような状況下になったのは初めてのことであって、人との関わり方も今後大きく変化する生活様式になる状況。アフターコロナという言葉が先行しておりますが、どのような時代になるのか形になるのか、まだまだ予想での話で現実やってみなくては分かりません。移動手段・充分な距離・こまめな換気・身の回りの消毒等、新たな仕組みが始まります。当社でもお客様との接し方、仕入れ先様との接し方多くの変化を受け入れながら商いで。さて、感染症の拡大といった事態が発生すると、一般的に、(1)観光業→(2)航空業(運輸業)→(3)イベント業→(4)外食産業→(5)小売業→(6)製造業の順番で影響を受けることになるといわれています。この法則からすると製造業の流れもコロナウイルスの影響を受け始めてくる時期となります。トヨタ自動車は6月から週休3日の計画を立て、多くの製造業も足並みそろえて生産調整に瞬間入る様相。半導体関連も一部活気づいていますが、まだ不安定要素が感じられます。しかし、コロナ禍が蔓延したことで様々な考え・物・価値観が加速化していきま。特にものづくりの市場では、無人運搬や物流ロボットなどの技術は、コロナ感染拡大防止という観点から非常に大きな役割だと理解されるようになったし、医療機関でも遠隔操作ロボットを導入して隔離エリアの患者に食事や物資を提供しています。現在アメリカでも自動運転車を使ってモノを配送する取り組みは活発です。自動運転車で医薬品や必需品を配送するためです。中国でも新型コロナが規制緩和の引き金になっています。自動運転技術を搭載した配送ロボットの走行制限が緩和され、一部地域では配送ロボットを活用した取り組みが盛んになりました。またアメリカのフロリダ州では、自動運転シャトルバスによる医療品やコロナウイルス検体の自動搬送を行っています。医療現場において搬送作業の負担を削減し、医療従事者や作業スタッフへの感染拡大防止に大きく貢献しているようです。このような状況の中でも負から正へ取り組み激しく動いている国や産業があります。日本もアフターコロナというキーワードの中でどのような取り組みを初めて行けば良いのか、スタートラインに全世界が一回にたった瞬間であると感じております。

★国中エリア 塚原★
コロナウイルスの発生原因とパンデミック問題について、米国を中心に各国が中国へ賠償訴訟を起こす動きが出てきました。WHOの存在意義も含め色々考えさせられる問題が出ています。さて、国中の5月状況ですが半導体の動きが思っていたよりも良く、悪いながらも恩恵を受けている企業様が多いと思います。8月までの内示は決まっているようですが、その後の動きはまだ出て来ておりません。車、トラック関係では、依然として生産調整が続いておりますが、6月からは少しづつ生産を増やして行くと聞いております。切削メーカーでは大きな動きも無く、依然として厳しい状況は続いているようです。まだまだ気を抜ける状況ではないようです。

★郡内エリア 望月★
新型コロナウイルスでの緊急事態宣言が完全ではありませんが解除となりました。今後の日本、世界の状況がどう変わっていくか?二次拡大感染が心配です。5月の状況ですが、動きがかなり鈍くなっております。工作機械では1社が週3日勤務になっております。トラック、自動車では生産調整でワークシェアをしております。半導体では1社が8月まで生産があるそうです。各半導体メーカーでも動きがあるそうです。医療機では好調をキープしております。食糧機では、引き合いがあるそうですが注文は未定だそうです。郡内の大手企業では、5月期、週4日勤務や交代制などをして調整しております。解除後、6月になってどう動きがあるのか?今後の動向を注意して見ていきたいと思っております。

★上野原エリア 山田★
5月に入り連休もありましたが、外出自粛の為おうち時間を過ごされた方も多かったと思います。さて動向ですがコロナウイルスの影響が各業種に広がって来ております。そんな半導体関係は部署にもよりますが内示が出て来た様で忙しく稼働されている所も出て来ています。自動車関係は厳しい状況の様でコロナウイルスの影響が出ていた様に思います。医療器関係はほぼ変わらずといった所です。東京、埼玉、神奈川方面でも同じような状況の様ですが、緊急事態宣言が解除になっておらず、交代勤務や、週休4日などの所も多い様でまだまだ不安定な状況です。上野原エリアは都市部に親会社がある方が多く自粛要請により仕事の減少が多いようです。今後の動きが非常に気になりますがしっかりと注視して行きたいと思っております。